

Google Workspace

Google Workspaceユーザー向け Active!vault SS(転送方式) との連携手順マニュアル

新規お客様用：国内版

目次

第1章	Google Workspaceユーザー向け Active!vault SS との連携手順	1
1	サービス開始前の確認事項	2
2	Active!vault SS サービスと Google Workspaceを連携する	3
2.1	Google Workspace 管理者にてログイン	3
2.2	[設定]画面へ移行する	3
2.3	[ホスト]を設定する	6
2.3.1	送信用ホストの設定	7
2.3.2	受信用ホストの設定	8
2.4	[ルーティング]に設定を追加し、送信時のメールをアーカイブさせる	9
2.5	[ルーティング]に設定を追加し、受信時のメールをアーカイブさせる	13
3	Google Workspace連携におけるよくあるご質問	17
3.1	アーカイブされないメールはどんな場合がありますか？	17
3.2	Active!vault SS にアーカイブされるタイミングはどんな時ですか？	17
3.3	プライマリとセカンダリのメールは全く同一のものですか？ envelope-from,rcpt-to、中身は何か変わりますか？	17
3.4	セカンダリに転送され配送されたメールはどうなりますか？	17
3.5	スパムメールはアーカイブされるのですか？	18
3.6	ウィルスメールはアーカイブされるのですか？	18
3.7	スパムやウィルス系のメール判定の基準は？	18
3.8	アーカイブできるメールは、1通あたりどのくらいの容量まで可能ですか？	18
3.9	検索画面で同じメールが多重アーカイブされている様に見えるのはなぜですか？	18
3.10	検索画面で既に送ったはずのメールが一定時間置きにアーカイブされている様に見えるのはなぜですか？	18

第1章

Google Workspaceユーザー向け Active!vault SS との連携手順

Google Workspaceユーザーに向けたActive!vault SSとの連携についてご説明致します。



注意

これは弊社 Active!vault SS サービスを初めてご利用されるお客様へ向けた連携手順マニュアルとなります。

すでに弊社サービス（Active!gate SS サービスも含む）をご利用されているお客様には、弊社営業本部より別途連携手順マニュアルをお渡ししております。お手数ですが、現在の環境をご確認の上、ご不明な点がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

1 サービス開始前の確認事項

SPFの設定を行っている場合には、下記の通りお客様が使用しているDNSサーバに追記して頂きます様よろしくお願い致します。

下記はGoogle Workspaceをご利用されているお客様のSPF設定となります。
ご利用されている環境をご確認の上、追記をお願い致します。

IN TXT "v=spf1 include:_spf.google.com ~all"



IN TXT "v=spf1 include:_spf.google.com include:_spf.activegate-ss.jp ~all"

ファイアウォールなどで、IPアドレス制限を設定し特定のIPのみ許可されている場合は、下記弊社IPアドレス範囲に対しての通信も許可頂くようお願い致します。

① 【IP Address】 125.252.89.192/26

② 【IP Address】 223.27.116.0/22

③ 【IP Address】 202.241.206.0/25

次ページより、Google Workspace側での設定をご説明致します。

本マニュアルに記載の情報は **2021年7月1日** 現在のものです。Google Workspaceでは予告なくインターフェースが変わる場合があります。その際は弊社サポート問い合わせまでご連絡頂ければ幸いです。

2 Active!vault SS サービスと Google Workspaceを連携する

Active!vault SS と Google Workspaceを連携する手順をご説明します。

2.1 Google Workspace 管理者にてログイン

Google Workspaceの管理者画面にて管理者権限でログインをして下さい。

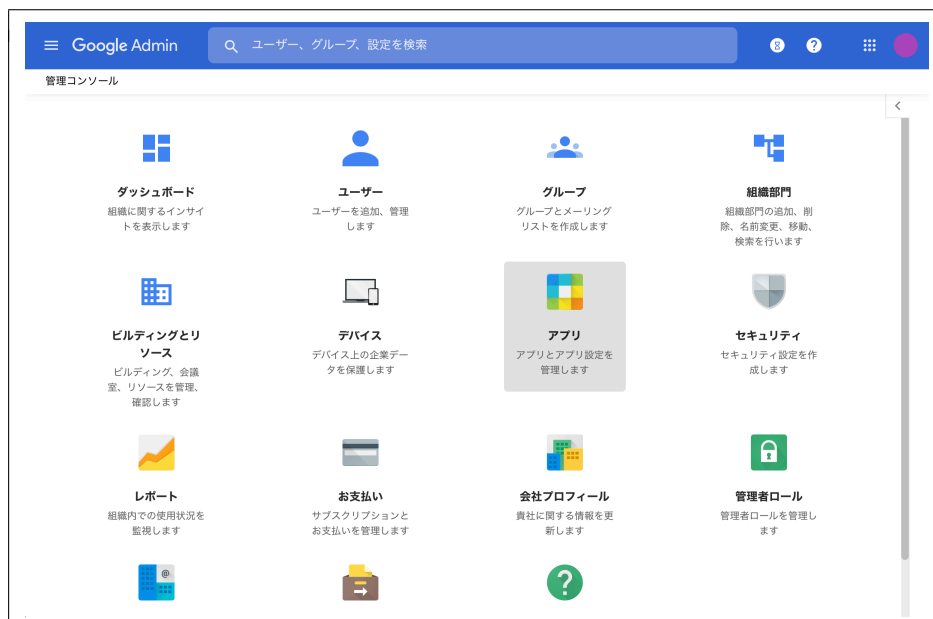
【URL】<https://www.google.com/a/DomainName>^a

^a DomainNameはお客様がご利用されてるGoogle Workspaceのドメイン名です。
例：<https://www.google.com/a/xxxxxx.example.jp/>



2.2 [設定]画面へ移行する

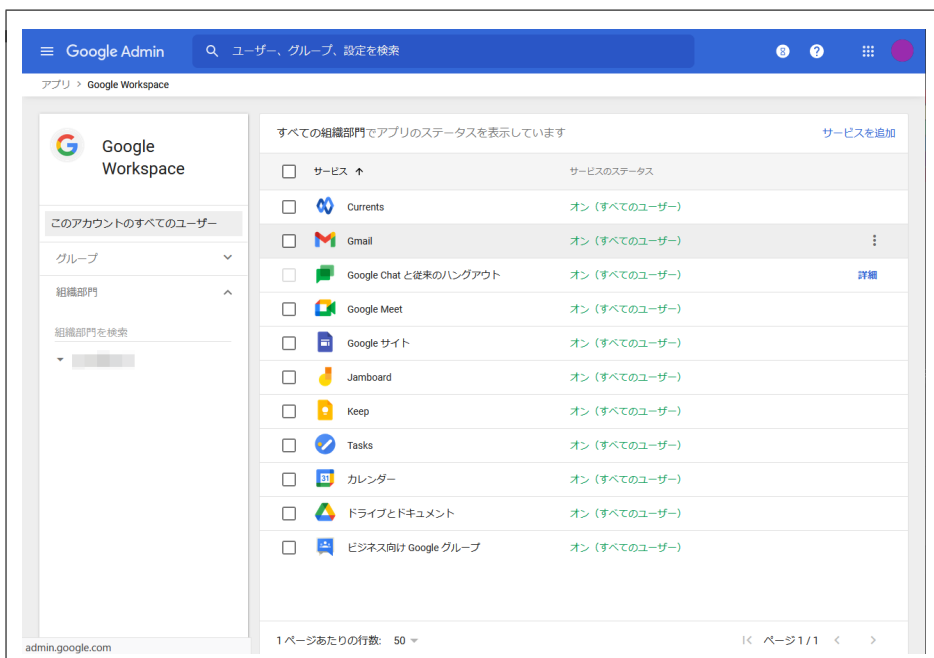
ログイン後 管理コンソールと呼ばれる画面に入ります。[アプリ]をクリックします。



次の画面へ移動しましたら続いて[Google Workspace]をクリックします。



次の画面へ移動しましたら続いて[Gmail]をクリックします。

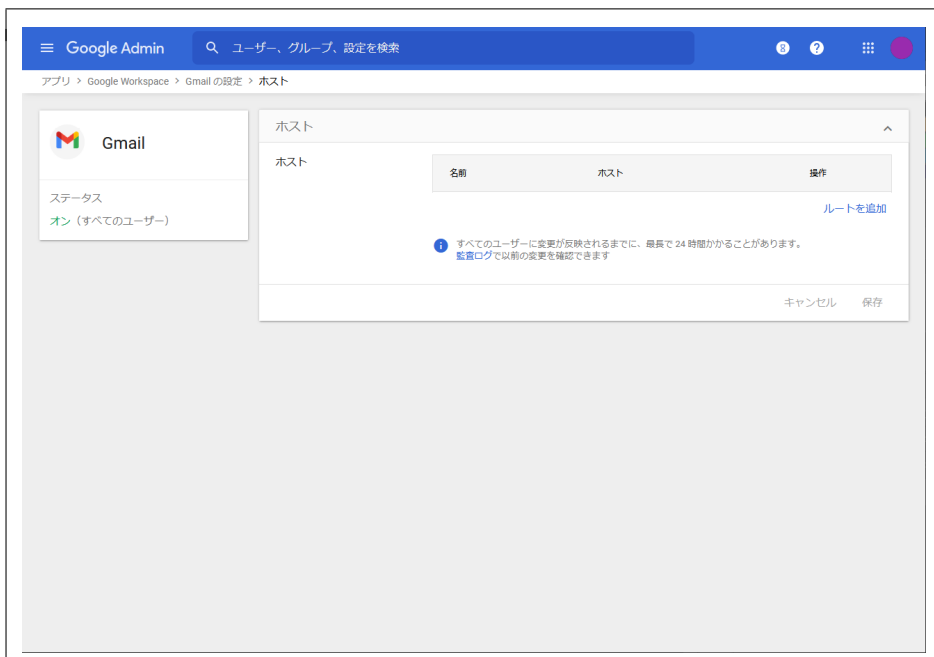


[Gmail]を管理する画面に移動します。画面下部にあります[ホスト]をクリックします。



2.3 [ホスト]を設定する

設定画面の右下にある[ルートを追加]ボタンをクリックします。



設定画面が表示されますので、送信用ホストと受信用ホストをそれぞれ設定してください。

2.3.1 送信用ホストの設定

[メールのルートを追加]画面で以下の通り入力します。

メールのルートを追加

名前 1

[送信用]アーカイブ

このフィールドは必須です。

1. メールサーバーの指定

番号が 25、587、1024～65535 のポートのみ使用できます。

単一のホスト 2

2. オプション

☐ ホストで MX ルックアップを実行する 3


☒ メールの送受信時にセキュリティプロトコルで保護された (TLS) 接続を必須とする (推奨)

☐ CA の署名付き証明書を必須とする (推奨)

☐ 証明書のホスト名を検証する (推奨)

[TLS 接続をテスト](#)

キャンセル 保存

1	【名前】 設定するホストの名前を設定します。ここでは「[送信用] アーカイブ」としています。 あとでわかりやすい名前にすることをお勧めします。
2	【1. メールサーバの指定】 リストから「単一のホスト」を選択し、下の入力欄にホスト名とポート番号を入力します。 ポート番号は25です。 <div> 注意 ホストはお客様ごとに異なります。サービス開通確認書に記載の「送信アーカイブ用ホスト」を入力してください。</div>
3	【2. オプション】 以下の通りに設定します。 [ホストでMXルックアップを実行する] チェックしない [メールの送受信時にセキュリティプロトコルで保護された(TLS)接続を必須とする] チェックする [CAの署名がある証明書を必須とする] チェックしない

すべての項目が正しく入力されていることを確認し、[保存]ボタンをクリックします。ホスト設定画面に戻りますので、再度 [ルートを追加]ボタンをクリックします。

2.3.2 受信用ホストの設定

[メールのルートを追加]画面で以下の通り入力します。

メールのルートを追加

名前 詳細

[受信用]アーカイブ ①

このフィールドは必須です。

1. メールサーバーの指定

番号が 25、587、1024～65535 のポートのみ使用できます。

単一のホスト ▼ ②

③

2. オプション

☐ ホストで MX ルックアップを実行する


☒ メールの送受信時にセキュリティプロトコルで保護された (TLS) 接続を必須とする (推奨)

☐ CA の署名付き証明書を必須とする (推奨)

☐ 証明書のホスト名を検証する (推奨)

TLS 接続をテスト

キャンセル 保存

①	【名前】 設定するホストの名前を設定します。ここでは「[受信用] アーカイブ」としています。 あとでわかりやすい名前にすることをお勧めします。
②	【1. メールサーバーの指定】 リストから「単一のホスト」を選択し、下の入力欄にホスト名とポート番号を入力します。 ポート番号は25です。 <div> 注意 ホストはお客様ごとに異なります。サービス開通確認書に記載の「受信アーカイブ用ホスト」を入力してください。</div>
③	【2. オプション】 以下の通りに設定します。 [ホストでMXルックアップを実行する] チェックしない [メールの送受信時にセキュリティプロトコルで保護された(TLS)接続を必須とする] チェックする [CAの署名がある証明書を必須とする] チェックしない

すべての項目が正しく入力されていることを確認し、[保存]ボタンをクリックします。
「ホスト」画面に戻ります。入力した情報が一覧表示されますので、ご確認下さい。



注意

設定してから反映されるまでに最大24時間かかる場合があります。

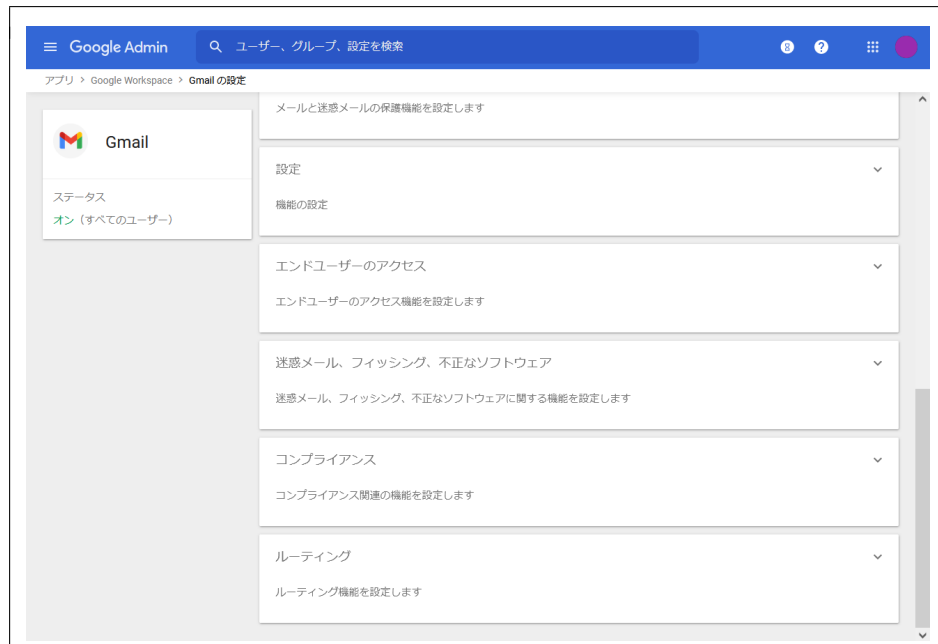


メモ

この状態ではまだ、転送方式でのアーカイブは開始されません。

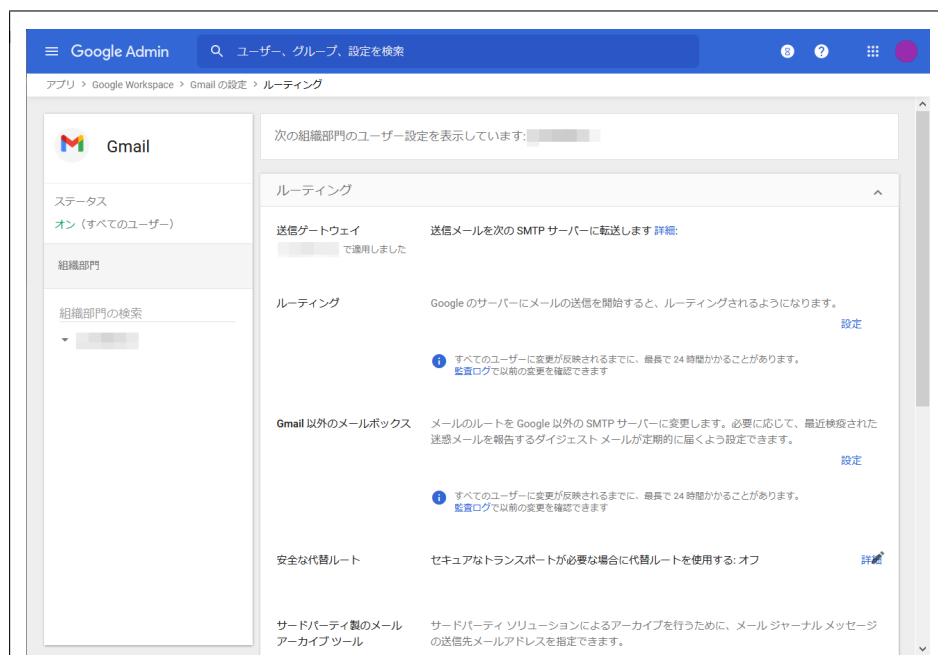
2.4 [ルーティング]に設定を追加し、送信時のメールをアーカイブさせる

Gmailの設定画面に戻り、画面下部にある [ルーティング] をクリックします。



「ルーティング」欄の[設定]ボタンをクリックします。

他の設定が登録済みの場合は、[別のルールを追加]ボタンをクリックしてください。



設定画面が表示されますので、下記の通りに入力します。

設定を追加

ルーティング

1

[送信用]アーカイブ

2

1. 影響を受けるメール

☐ 受信
 ☒ 送信
 ☒ 内部・送信
 ☐ 内部・受信

2. 上記の種類のメッセージに対し、次の処理を行う

メッセージを変更

ヘッダー

☐ X-Gm-Original-To ヘッダーを追加
 ☐ X-Gm-Spam ヘッダーと X-Gm-Phishy ヘッダーを追加
 ☐ カスタム ヘッダーを追加

件名

☐ 件名の先頭に追加するカスタム テキスト

ルート

☐ ルートを変更

エンベロープ受信者

☐ エンベロープ受信者を変更する

迷惑メール

☐ このメッセージには迷惑メールフィルタを適用しない

添付ファイル

☐ メッセージから添付ファイルを削除

その他の配信先

☒ 受信者を追加

受信者

まだ他の受信者が追加されていません。 [追加](#)

[追加](#)

キャンセル

保存

①	【概要】
	概要に表示される説明を入力します。ここでは「[送信用] アーカイブ」としています。
②	【1.影響を受けるメール】
	[送信] [内部-送信] ともにチェックを入れます。
③	【3.上記の種類のメッセージに対しては、次の処理を行います】
	[その他の送信先]の[受信者を追加] にチェックを入れます。チェックを入れると、[受信者]という欄が表示されますので、[追加] をクリックします。

受信者を追加する画面が表示されますので、[詳細]を選択して以下の通り入力します。

①	【ルートを変更】 「ルートを変更」にチェックを入れ、リストから「送信用ホスト」で設定した『[送信用] アーカイブ』を選択します。
②	【迷惑メールと配信のオプション】 [この受信者に迷惑メールを送信しない] チェックする [この受信者からのバウンスメールを送信元に送信しない] チェックする

設定内容を確認し、[保存] をクリックすると、元の設定画面に戻ります。

すべての項目が正しく入力されていることを確認し、[保存] をクリックします。

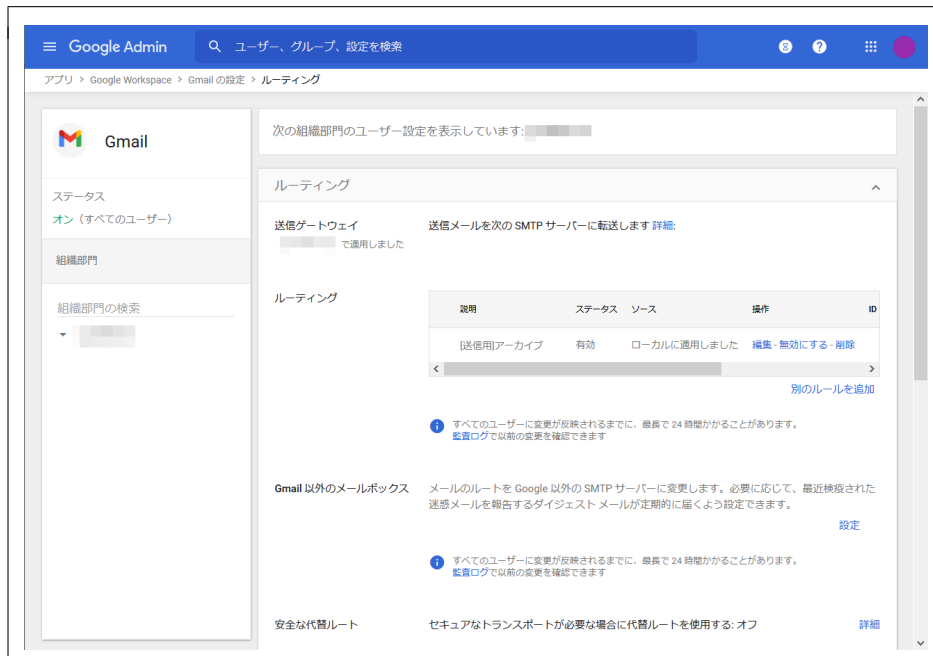


メモ

【この受信者に迷惑メールを送信しない】の設定について

「この受信者に迷惑メールを送信しない」にチェックを入れた場合、[Gmail](#) では迷惑メールの送信防止のために、受信時と同様に迷惑メールであるかのチェックを行っております。迷惑メールと判定されてしまう送信メールもアーカイブさせた場合は、チェックを外しご利用下さいますようお願い致します。

[ルーティング]画面に戻ると、設定済みの情報が一覧表示されます。

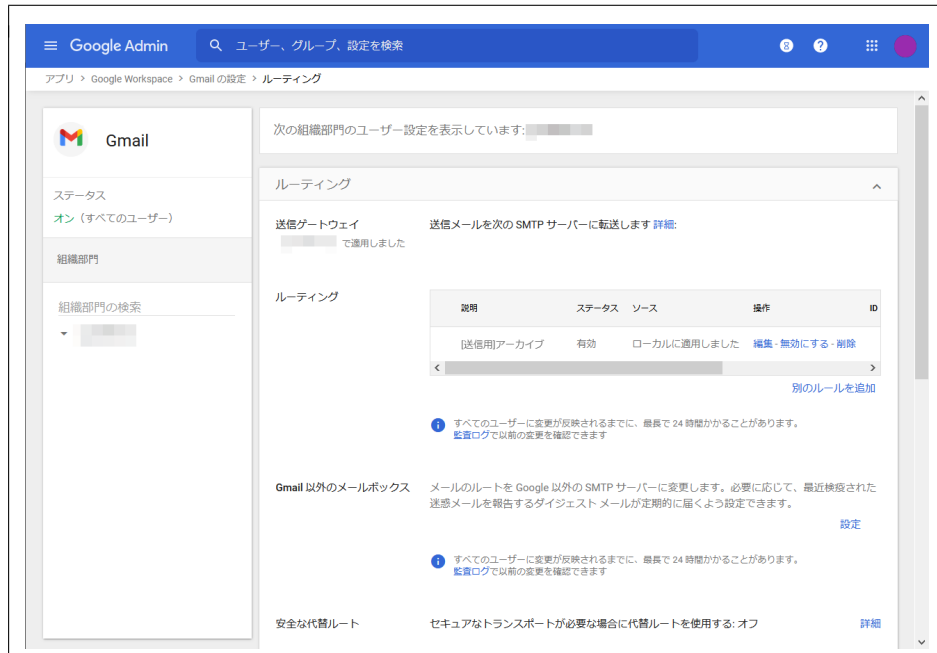


続いて、ユーザが受信したメールをアーカイブする設定を行います。

2.5 [ルーティング]に設定を追加し、受信時のメールをアーカイブさせる

「ルーティング」欄の[設定]ボタンをクリックします。

他の設定が登録済みの場合は、[別のルールを追加]ボタンをクリックしてください。



[設定を追加]画面が現れます。以下の通り入力します。

設定を追加

ルーティング 詳細

[受信用]アーカイブ

1. 影響を受けるメール

☒ 受信

☐ 送信

☐ 内部・送信

☒ 内部・受信

2. 上記の種類のメッセージに対し、次の処理を行う

メッセージを変更 ▾

ヘッダー

☐ X-Gm-Original-To ヘッダーを追加

☐ X-Gm-Spam ヘッダーと X-Gm-Phishy ヘッダーを追加

☐ カスタム ヘッダーを追加

件名

☐ 件名の先頭に追加するカスタム テキスト

ルート

☐ ルートを変更

エンベロープ受信者

☐ エンベロープ受信者を変更する

迷惑メール

☐ このメッセージには迷惑メールフィルタを適用しない

添付ファイル

☐ メッセージから添付ファイルを削除

その他の配信先

☒ 受信者を追加

受信者

まだ他の受信者が追加されていません。 [追加](#)

[追加](#)

[キャンセル](#) [保存](#)

①	【概要】
	概要に表示される説明を入力します。ここでは「[受信用] アーカイブ」としています。
②	【1.影響を受けるメール】
	[受信] [内部-受信] とともにチェックを入れます。
③	【3.上記の種類のメッセージに対しては、次の処理を行います】
	[その他の送信先]の[受信者を追加] にチェックを入れます。チェックを入れると、[受信者]という欄が表示されますので、[追加] をクリックします。

設定を追加

詳細 ▾

上の変更と以下を適用:

ルート

☒ ルートを変更 **1**

[受信用]アーカイブ ▾

エンベロープ受信者

☐ エンベロープ受信者を変更する

迷惑メールと配信のオプション **2**

☒ この受信者に迷惑メールを送信しない

☒ この受信者からのバウンスメールを送信元に送信しない

ヘッダー

☐ X-Gm-Original-To ヘッダーを追加

☐ X-Gm-Spam ヘッダーと X-Gm-Phishy ヘッダーを追加

☐ カスタム ヘッダーを追加

キャンセル 保存

1	【ルートを変更】 「ルートを変更」にチェックを入れ、リストから「受信用ホスト」で設定した『[受信用] アーカイブ』を選択します。
2	【迷惑メールと配信のオプション】 [この受信者に迷惑メールを送信しない] チェックする [この受信者からのバウンスメールを送信元に送信しない] チェックする

設定内容を確認し、[保存] をクリックすると、元の設定画面に戻ります。

すべての項目が正しく入力されていることを確認し、[保存] をクリックします。

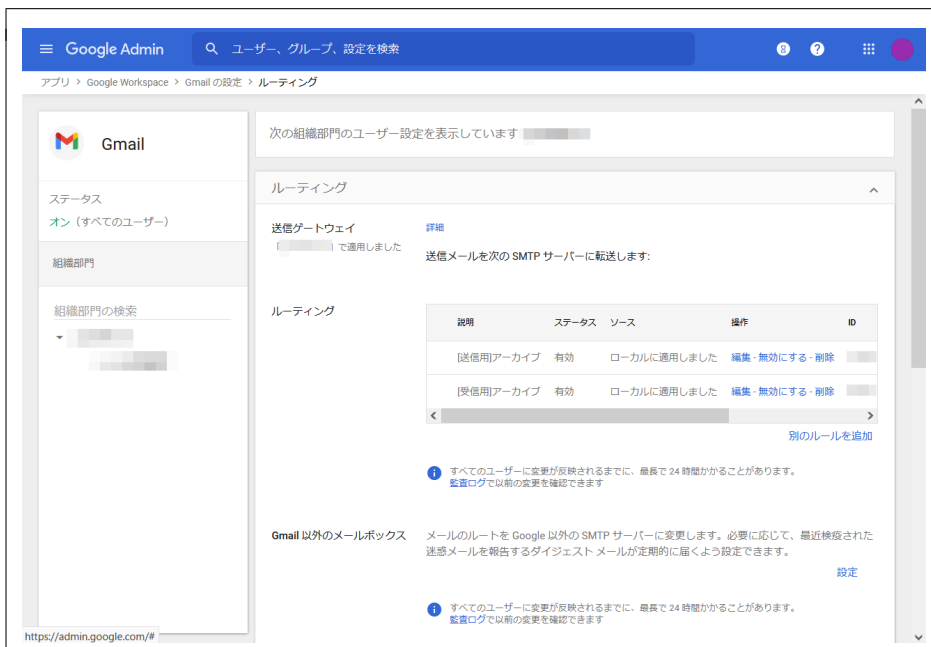


メモ

【この受信者に迷惑メールを送信しない】の設定について

「この受信者に迷惑メールを送信しない」にチェックを入れた場合、[Google Workspace](#)のメールボックス内にあります「迷惑メール」フォルダに入る迷惑メールをアーカイブの対象外とします。迷惑メールもアーカイブさせたい場合は、チェックを外しご利用下さいませようお願い致します。ただし、迷惑メールフォルダへ入るメール数が膨大な場合、Active!vault SS 検索画面にて検索に時間がかかります事をご留意下さい。

[ルーティング]画面に戻ると、設定済みの情報が一覧表示されます。



以上でActive!vault SS との連携手順は完了となります。

3 Google Workspace連携におけるよくあるご質問

Google Workspaceとの連携にて発生するお問い合わせの多いご質問と回答を章ごとに掲載しています。お問い合わせ頂く前に一度、ご確認ください。

3.1 アーカイブされないメールはどんな場合がありますか？

以下Google Workspaceヘルプの注意事項の情報を参照下さい。また下記googleヘルプは予告なく変更される場合もございますので、定期的な観覧をお勧めいたします。

<http://support.google.com/a/bin/answer.py?hl=ja&answer=2368131>

以下 **2015年01月16日** 時点での注意事項

注: Google グループのアドレスに送信されたメッセージについては、現時点では送信ルーティング ポリシーが適用されません。たとえば、送信ルーティング設定を使用してグループ メールを Microsoft Exchange サーバーに転送するように送信ゲートウェイを設定した場合、Google グループ経由で送信されたメッセージはグループ アドレスに配信されますが、Exchange サーバーには転送されません。

弊社Active!vault SSでは上記条件に該当する状態は下記が挙げられます。

Google Workspaceグループにて作成されたメーリングリストに外部のユーザのアドレスしか存在せず、そのメーリングリストに外部のユーザが送信した場合

ただし、弊社では内部のユーザがグループアドレスへ送信した段階で同じメールがアーカイブされておりますので、アーカイブ自体に漏れはありません。

3.2 Active!vault SS にアーカイブされるタイミングはどんな時ですか？

A : Active!vault SS(転送方式)では、通常ご利用されているGoogle Workspaceの配送経路（以下プライマリ）を変える事無く、新たな配送経路（以下セカンダリ）を新設し、セカンダリ側に来る(転送された)メールをアーカイブさせる方式をとっております。

2013年4月時点でのセカンダリへのメールの配送（Google Workspaceでは[2重配信]と呼んでいます）が発生するタイミングは、「受信時」は、ご利用されているユーザのメールボックスに到達した時点。「送信時」は、ご利用されているユーザがメールを「送信」した時点でセカンダリに転送が発生します。

3.3 プライマリとセカンダリのメールは全く同一のものですか？ envelope-from,rcpt-to、中身は何か変わりますか？

A : 変わりません。同一です。

3.4 セカンダリに転送され配送されたメールはどうなりますか？

A : お客様のご利用されるActive!vault SSへアーカイブした後は即時消去します為、どこへも配送されず終了します。

3.5 スпамメールはアーカイブされるのですか？

A：Google Workspaceの仕様により、迷惑メールはメールボックスに到達する前に削除されます。ただし稀に「迷惑メール」フォルダに入るスパムメールも存在します。その場合のスパムメールをアーカイブさせるかどうかの設定は【この受信者に迷惑メールを送信しない】の設定についてご参照下さい。

3.6 ウィルスメールはアーカイブされるのですか？

A：アーカイブされません。Google Workspaceの仕様により、ウィルスは即時消去されます。

3.7 スпамやウィルス系のメール判定の基準は？

A：Google Workspaceで行っております。

3.8 アーカイブできるメールは、1通あたりどのくらいの容量まで可能ですか？

A：Google Workspaceの仕様により1通あたり25MBまでです。

3.9 検索画面で同じメールが多重アーカイブされている様に見えるのはなぜですか？

Google Workspaceの仕様により、宛先が複数あるメールに対して1セッションではなく複数セッションにて送信、または受信した場合に起こります。その複数のセッション数分にてバラけた状態の表示になります。

3.10 検索画面で既に送ったはずのメールが一定時間置きにアーカイブされている様に見えるのですがなぜですか？

プライマリ側でリトライを繰り返している可能性が無いかお調べ下さい。Google Workspaceの仕様により、セカンダリ側はプライマリ側と同様の動作を致します。その為、プライマリ側がリトライを繰り返している様な状況の場合、セカンダリ側にもその分だけ転送が発生致します。予めご留意下さいますようお願い致します。

Google Workspaceユーザー向け **Active!vault SS**(転送方式) との連携手順マニュアル
新規お客様用：国内版

発行者 株式会社クオリティア
©2008 QUALITIA CO., LTD.

著作権情報

Active!vault SSのプログラムとマニュアルは、著作権法で保護された著作物で、その全部または一部を許可なく複製したり複製物を配布したり、あるいは他のコンピュータ用に変換したり、他の言語に翻訳すると、著作権の侵害となります。

ご注意

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。また、本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

商標表示

Active!vault SSは株式会社クオリティアの登録商標です。**Active!vault SS**のインターフェースおよびマニュアルに記載されているその他会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

(開発元・発売元・お問い合わせ先)

株式会社クオリティア

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町

URL=<https://www.qualitia.co.jp/>

eMAIL=active@qualitia.co.jp

TEL=03+5623+2530 FAX=03+5623+2535

version 2.2.1